

平成 22 年 8 月 1 日

特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ  
理事長 黒田裕子 殿

団体所在地 〒651-0095  
神戸市中央区 町 丁目  
マンション 号室

名 称 特定非営利活動法人  
地域サポートセンター

代表者氏名

印

### 平成 22 年度 助成金支給申請書

別紙書類の通り事業を実施したいので、貴基金の規則により助成金の支給を希望致します。

#### 記

1. 事業名 「 「くらしのサポート」のためのコーディネーター研修 」

2. 事業費総額 ￥ 300,000. -

3. 助成金申請額 ￥ 200,000. -

## 団体概要書

ふりがな	とくていひえいりかつどうほうじん ちいきさぼーとせんたー			法人格( で囲む)
団体名	特定非営利活動法人 地域サポートセンター			<input checked="" type="checkbox"/> あり ・ なし
連絡先住所	〒651-0095 神戸市中央区 町 丁目 マンション 号室			連絡先宛名( で囲む) <input checked="" type="checkbox"/> 代表者・事務担当者
電話番号	078- -	FAX番号	078- -	
メールアドレス	mail@example.ne.jp			
ふりがな				
団体代表者 役職・氏名	理事長			連絡先電話番号 078- -
ふりがな				
事務担当者 役職・氏名	事務局長			連絡先電話番号 090- -
団体の 理念・目的	「人を活かす、物を活かす」をテーマに、 安心して老いることができるまち 生き生きとした人があふれるまち 物を大切にするまち を目指しています。			
団体の 事業内容	1. ふれあい交流事業 2. 「くらしのサポート」事業 3. 上記に関連する講演会・研修会事業			
団体の沿革 活動実績	設立年月日	1995年 9月 1日	法人化年月日	2003年 4月 1日
	1995年9月 前身組織「 」として発足 2003年4月 「 地域サポートセンター」と名称を変更し法人格を取得。 2003年4月から 研修会の開催 2004年10月から「くらしのサポート」事業開始			
過去3年間で助 成を受けられた実 績も記入下さい。	2005年4月 財団から「くらしのサポート」事業に対し助成金を受ける。			
会員	区分方法 正会員 利用会員	人数 20名・4団体 180名		
スタッフ	5名(内有給 2名)		ボランティア	3名(日・週平均)
活動状況	活動日 月～金曜日 5日/週・月( で囲んで下さい)	時間 10時～16時 (または 時間)		
機関誌	名称 地域サポセンユース	発行部数 500部	頻度 年4回	
ホームページ	<a href="http://www.example.ne.jp/homepage/">http://www.example.ne.jp/homepage/</a>			
財政 状況	前々年度決算総額	前年度決算総額	今年度予算総額	
	総収入	3,209,000	3,540,000	3,600,000
	総支出	3,198,000	3,475,000	3,600,000

事業計画書

事業名	「くらしのサポート」事業のためのコーディネーター研修			
事業の目的・社会的必要性	介護保険対象外の依頼や病院での活動など地域で支えあうための「くらしのサポート」は重要性を増している。円滑に活動を展開させるためにはコーディネーターの存在が欠かせず、その力量アップのための研修を企画した。			
事業の内容	項目 / 内容		目標の設定	
	<p>コーディネーター研修会 講師： ( コーディネーター支援センター )</p> <p>先進事例の訪問ヒアリング調査 活動の流れ、書式の形式、書類整理の方法、コーディネーター研修の内容などを実地で学ぶ。 訪問予定団体：A、B、C、D</p>		<p>全 10 回開催・10 名全員参加</p> <p>4 団体へ訪問と研修会へのフィードバック</p>	
事業のスケジュール	月日	項目	実施場所	実施担当者
	1月上旬	・コーディネーター研修会(3回) コーディネーターの基本を学ぶ	地域交流センター 会議室	
	1月下旬	・先進事例訪問ヒアリング調査(2ヶ所)	先進事例団体活動 拠点(A、B)	
	2月上旬	・コーディネーター研修会(4回) コーディネーターの実務を学ぶ	地域交流センター 会議室	
	2月下旬	・先進事例訪問ヒアリング調査(2ヶ所)	先進事例団体活動 拠点(A、B)	
	3月	・コーディネーター研修会(3回) 自分たちの課題と解決策の検討	地域交流センター 会議室	
事業の対象	地域サポートセンター所属 現コーディネーター10名			
期待される成果・社会的価値	コーディネーターが力量アップすることで、利用者はより良いサービスを受けることができ、サポーターも気持ちよく活動ができる。ひいては、「くらしのサポート」事業そのものを充実させることで、「人を活かす、物を活かす」地域づくりの推進につなげることができる。			
「次代の担い手育成」との関係性	今回の研修を受けた「くらしサポート」事業コーディネーターが、その経験を積み重ねていくことで、将来的には「人を活かす、物を活かす」地域づくりの推進者として中心的な役割を果たせることになることを目指します。			
事業費総額	¥ 300,000	助成申請額	¥ 200,000	

## 事業収支予算書

## 収入の部

科目(調達元)	金額(単位:円)	調達方法
当基金助成申請額(A)	200,000	(A) = (C) \ (A) (B) \times 75%
会費収入	25,000	(正会員個人会費¥3,000 \times 20人 + 団体会費¥10,000 \times 4団体) \times 0.25 (四半期の事業のため)
事業収入	50,000	受講料¥5,000 \times 10人
自己資金	25,000	理事長より
合計(B)	300,000	(B) = (E)

## 支出の部

科目(使途)	金額(単位:円)	積算根拠	
助成金での使途科目	諸謝金	200,000	研修会講師: ¥20,000 \times 10回 (講師交通費込)
	小計(C)	200,000	(C) = (A) \ (C) (E) \times 75%
助成金以外での使途科目	旅費交通費	24,000	訪問ヒアリング調査先団体への交通費: 平均¥3,000 \times 2人 \times 4回
	諸謝金	40,000	訪問ヒアリング調査先団体: ¥10,000 \times 4団体
	会議費	20,000	研修会場使用料(地域センター): ¥2,000 \times 10回
	印刷製本費	8,000	テキスト印刷費(80ページ/冊 \times ¥10 \times 10人分)
	事務用品費	8,000	用紙、ファイル等文具類購入
小計(D)	100,000		
合計(E)	300,000	(E) = (B) \ (C) + (D) = (E)	

金額欄はすべて、千円未満の端数を切り捨ててご記入下さい。

助成金での使途科目のうちに、10万円以上の物品の購入や修繕工事等に充てる場合は、業者等による見積書やカタログ等を添付して下さい。(コピー可)